

「関東地方 ～人口や都市の視点を中心にして～」

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力 主体的に学ぶ力
他者とのかかわる力**単元について**

○単元観

本単元では、関東地方について人口を視点として学ぶ。

この単元は、日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、学習指導要領（2）のウで示した考察の仕方をもとにして、地域的特色をとらえさせることを目的としている。

本単元の目的を踏まえ、「都市部への人口流入と過密化、過疎化、都市化の成立など、人口や都市・村落に関する特色ある地理的事象」や「都市の発展と商業地域の形成」、「過疎・過密地域の抱える問題」を学習させることにより「地域の人口分布や動態、都市・村落の立地や機能」や「過疎・過密問題の解決が地域の課題になっていることを理解させる。本単元を学ぶことは、「諸資料に基づいて多面的・多角的に考察」し「我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識」させるという社会科、地理的分野の目標に通じるものである

○生徒観

第2学年の生徒は、広島県「基礎・基本」定着状況調査において、「学習習慣・学習意欲」に係る質問に対して、「よく当てはまる」と「当てはまる」と回答した割合が県平均を上回っているが、「授業では、情報を、比べたり（比較）、仲間分けしたり（分類）、関係を見付けたり（関係付け）して、何が分かるのかを考えています。」という質問に対しては、県平均を2.7ポイント下回っている。また、標準学力調査においても、社会的な思考・判断・表現と資料活用の技能が全国平均を下回っている。

グループ活動や教え合い活動等は活発に行えている半面、そうした活動により、資料を読み取ったり、読み取ったことから自分の考えをまとめたり、考えを発信する力が十分に身に付いていないことが課題である。

○指導観

指導にあたっては、主体的な学びとなるよう、生徒に必然性を感じることものできるような課題設定を工夫する。そこから生徒は、必要な情報を取捨選択し、既習事項をもとに課題を解決していく活動を積み重ねることで、思考力・判断力・表現力の向上を図る。

教えあいや思考の共有を図るため、個人思考ののちにペア学習や3～4人で行うグループ学習を行う。その際に、司会者や発表者を指名することにより、円滑にグループ学習を進めていく。

本単元では、東京の人口について理解を深めることにより、地元である福山市の人口問題についても考察していく。

単元の目標

- (1) 関東地方の自然の特徴を理解することができる。
- (2) 人口ピラミッドを読み取ることができる。
- (3) 人口が集中する地域の特徴を理解することができる。
- (4) 福山の特徴を理解することができる。
- (5) 福山の人口減少を防ぐ方法を説明することができる。

単元の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 見方や考え方	ウ 技能	エ 知識・理解
①関東地方の自然や歴史的背景、都市の機能に関心をもち、人口や都市という視点を中心にして意欲的に追求しようとする。	①東京に人が集まる理由を根拠をもとにグループ内で発表することができる。 ②福山市がこれからさらに発展していくために必要なことを考えることができる。	①根拠をもとに説得力のある発表をすることができる。 ②過密地域と過疎地域の特徴と課題を教科書と資料集からまとめることができる。 ③根拠をもとに説得力のある発表をすることができる。	①関東地方の自然や産業について、人口や都市という視点から見た地域的特色を理解し、その知識を身に着けている。

資質・能力と評価の観点とのかかわり

本校の育てようとする資質・能力			評価の観点			
			関	考	技	知
知識						○
スキル	思考力・判断力・表現力	思		○		
意欲態度	主体的に学ぶ力	主	○			
価値観 倫理観	他者とかかわる力	他		○		
	社会貢献力	社				
	自己形成力	自				

Ⅰ 学習内容とⅡ 学習活動、Ⅲ 単元として育てたい資質・能力のつながり

Ⅰ 東京の特徴から、人が集まる地域の特徴を考え、Ⅱ その特徴が現れる理由を考えることを通じて、Ⅲ 私たちの故郷である福山の人口問題について考える力を養う。

単元の終末におけるパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準	
福山市の人口は、今後減少し、さらに高齢化が進むことにより、経済も衰退すると考えられる。 福山を魅力的な街にして人口減少を防ぐためには、どのような方法が考えられますか。	A	グループで協力して結論を導き、その結論を東京と福山の特徴を比較して、福山の特徴を考えながら説明することができている。
	B	資料から必要な情報を取り出し、グループとともに福山を魅力的な街にする方法を説明することができている。
	C	資料から必要な状を打を取り出し、グループと協力して課題を解決しようとしている。

指導と評価の計画

時	学習過程	学習内容	評 価				評価規準 (評価方法)	◇資質・能力育成場面 【資質・能力】 ◆資質・能力評価場面 【資質・能力】 (評価方法)
			関	考	技	知		
1	課題設定	<ul style="list-style-type: none"> 東京・福山・府中の人口ピラミッドを提示し、東京の人口の特徴を理解する。 4人グループで東京がなぜ人々をひきつけるのか考える。 	◎				アー① (発表, 行動観察)	◇自分なりに課題に対して見通しを持ち、考えをまとめる。 【思ー①】 ◇個人で、資料などから必要な情報を取り出す。 【主ー①】 ◇グループや全体で、考えや意見を交流する。 【他ー②】
2	情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> 東京に人口が集まる具体的な理由をジグソー学習を通して学ぶ。(政治・経済・文化・工業の分野に分けてまとめる) 		◎			イー① (ノート)	
3	整理・分析	<ul style="list-style-type: none"> 4人グループ内で、前時に調べたものを発表する。 人口の集中する地域の特徴をまとめる。 			◎		ウー① (発表内容)	
4	まとめ・創造・表現	<ul style="list-style-type: none"> 東京の持つ課題と過疎地域の持つ課題について理解する。 			◎		ウー② (発表内容) エー① (ワークシート)	
5		<ul style="list-style-type: none"> 福山の人口の変化を予測する。 4人グループで福山が魅力的な街として発展するための政策をひとつ考える。① 		◎			イー② (発言内容)	
6		<ul style="list-style-type: none"> 4人グループで福山が魅力的な街として発展するための政策をひとつ考える②。 グループごとに発表する。 			◎		ウー③	

本時の学習

(1) 本時の目標

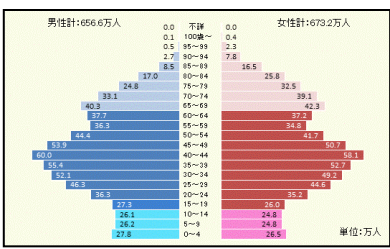
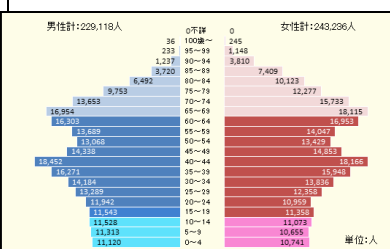
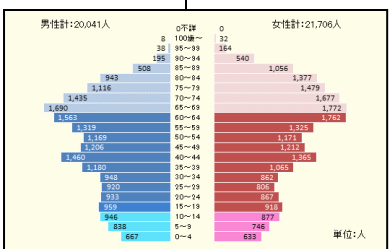
なぜ東京に人が集まるのか理由を考えよう。

(2) 準備物

教科書、ノート、資料集、ワーク、ホワイトボード、マジック

(3) 学習過程 (1 限目/6)

課題の設定

	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法) 【資質・能力の評価】
導入 (10分)	<p>・三つの人口ピラミッドを、東京・福山・府中に分ける。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	<p>・なぜそう考えられるのか、理由も考える。</p>	
	<p>【本時のめあて】 なぜ、東京に人が集まるのか考えよう。</p>		
展開① (15分)	<p>・東京の人口ピラミッドと福山の人口ピラミッドを比較して東京の人口特徴を考える。 (□…じっくり考える)</p>	<p>・個人思考を行い、その後グループで意見を交流する。 ・グループで考える際、ホワイトボードを使って整理させ、発表する。</p>	
展開② (20分)	<p>・なぜ東京がこのような特徴を持っているのか考える。 (□…じっくり考える)</p>	<p>・個人思考を行い、その後グループで意見を交流する。</p>	<p>◎東京が多くの人口を引き寄せていることに関心をもち、首都や、商業・情報・文化などの中心地としてのたらしきを意欲的に追求している。</p>
まとめ (5分)	<p>東京が人口を集める理由を自分の言葉でまとめる。 (□…はっきり表現する)</p>	<p>・解答の様式は自由。</p>	